

公益財団法人循環器病研究振興財団

2019年度研究発表会

第16回循環器疾患看護研究助成研究発表

◆ 日 時 ◆

2019年11月3日（日）9:20～10:20

◆ 会 場 ◆

北里大学白金キャンパス・プラチナタワー
第3会場

◆ 共 催 ◆

公益財団法人循環器病研究振興財団
第16回日本循環器看護学会学術集会

研究発表会の開催にあたって

この度、第16回日本循環器看護学会学術集会の指定共同企画として、当財団の助成事業であります「循環器疾患看護研究助成」の研究発表会を開催することになりました。

本研究発表会を開催するにあたり多大なご尽力を賜りました、第16回日本循環器看護学会学術集会の眞茅みゆき会長をはじめ、関係各位に心より御礼申し上げます。

昨年、国会において（脳卒中・循環器病対策基本法）成立しました。本法の成立により循環器病の予防、生活習慣の改善、医療機関では良質かつ適正な医療の提供など循環器病医療が大きく変わって参ります。当財団といたしましても、循環器病等に関する啓発及び知識の普及等の施策に協力するよう努めなければならないと思っております。

脳卒中、心筋梗塞などの急性疾患では看護の量的・質的な違いが患者さんの転帰に大きく影響するものであり、最近では色々な職種の専門家によるチーム医療の大切さが強調されています。

しかしながら、看護領域への公的な研究費は極めて少ないので現状です。そこで、当財団では、「循環器疾患看護研究助成」を実施することにより、看護師の研究心を高めて頂くとともに、より質の高い看護の提供をして頂くための一助となることを願っております。

いずれの研究課題も全国公募し、専門家で構成される選考委員会において審査基準をクリアした課題に対して、一定額の研究費を助成させて頂いております。

今後もこのような助成を継続的に実施していくよう銳意邁進して参る所存ですので、皆さまのご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。

公益財団法人循環器病研究振興財団

理事長 北村惣一郎

プログラム

■ 開会挨拶： 北村惣一郎（公益財団法人循環器病研究振興財団・理事長）

■ 座長： 伊藤 文代（洛和会本部採用教育課・部長）

研究課題 1

訪問看護を導入している慢性心不全患者と訪問看護の実態

■ 演者：佐野 元洋（千葉大学大学院看護学研究科・大学院生）

研究課題 2

脳梗塞院内発症から発見までにかかる時間とその要因の現状調査

■代理 演者：森永 瑞穂（大阪医療センター・看護師）

研究代表者：松田 愛（大阪医療センター・看護師）

研究課題 3

心不全患者を看取った遺族に対するインタビュー調査によるニーズの発掘と支援の検討

■ 演者：田中 奈緒子（兵庫県立姫路循環器病センター・看護師）

研究課題 4

ヒト凍結心臓弁・血管移植後の患者主体の追跡調査実施体制の構築に向けた研究

■代理 演者：小川 真由子（国立循環器病研究センター・組織移植コーディネーター）

研究代表者：平田 直子（国立循環器病研究センター・看護師）

研究課題 5

透析医療の安全性に関する実態調査－医療従事者の行動に焦点を当てて－

■代理 演者：東辻 保則（滋慶医療科学大学院大学・院生・臨床工学技士）

研究代表者：佐々木雅子（千里リハビリテーション病院・看護師）

×

モ